

学び続ければ人生は無限

(株)NISSYO 代表取締役

久保 寛一 氏 (高校27期)



東京都青梅市生まれ
早稲田大学工学部卒業、沖電気工業(株)の半導体事業部に所属。
その後父の創業した会社に入社したが3ヵ月で転職を後悔。
経営計画書を作って社員教育に時間とお金を使う会社に改革。
著書「ありえない! 町工場」で会社を伸ばす仕組みを公開。
全国からたくさんの経営者が見学に来ます。趣味は登山。

立高を卒業してもう49年が経ちました。これまで多くの人に育てていただき助けられてきましたが、人生の節目を迎えてそろそろ本格的にその恩返しを始める時期が来たと思いペンを取らせていただきました。人はいつのまにか「自分はここまで」という線を引いてしまいます。私もそうでしたがそんな時は上手くいきません。高校時代は落ちこぼれだった私ですが、人生は何とかなります。今は高い目標や夢を持って時の流れと生き生き格闘し、生きる喜びを味わっています。

【立高時代】

立高時代の思い出と言えば、入学早々の数学のテストでした。中学ではトップクラスの成績でしたが人生初の10点台を取ってしまい、数学が得意だというプライドが砕け散りました。さらにその問題を半分ほど解ける人がいることに驚きました。部活は器械体操部でした。中学から続けていたため得意でしたが、高2の春に腎臓病を患い5ヵ月学校を休みました。もともと自己表現性や自己主張性が強い方で目立ちたがり屋の私でしたが、好きな運動ができない、成績と出席日数は赤点だらけ、いつのまにか自分を抑制し目立たない存在にしていました。それでも先生のご厚意? でなんとか3年生にあがることができました。青春を謳歌するはずの高校生活とは程遠いものでしたが、そんな中でも合唱祭や文化祭は大変印象に残っています。みんなが一生懸命に何かに取り組む姿は輝いて見えました。毎日遅くまでキャンパスに新聞紙を貼り付けて、勉強する間もなかったはずの同級生が東大に合格して驚きました。個性を伸ばしてくれる豊かな人材に恵まれた高校でした。

【現在の仕事】



工具の整理整頓



経営計画発表会:
毎年開催している経営計画発表
経営絵計画書と著書

今は羽村市で従業員240名の(株)NISSYOを経営しています。大学卒業後は大手でエンジニアとして働き、その後20名ほどの父の会社に入りました。やがて「会社が危ない」ところまで追い込まれ、仕方なく経営の勉強を始めました。「会社を変える」=「経営者自身が意識を変え学び実行する」という事です。「自分はここまで」と線を引いた瞬間そこから先には進めません。誰も自分を変えて行くのは大変ですが、時代は勝手に変わっていきます。時代の流れを敏感に感じそれ以上のスピードで変化していく自分と会社を作れば、夢ある人生、夢ある会社が作れます。学び続ければ道は開けます。人間ですから歩みを止めることもあります。そんな時には誰かが助けてくれます。今の一番の楽しみは社員の成長です。生徒が成長する姿を見る学校の先生の気持ちが良い分かります。人の成長は嬉しいものです。お陰様でたくさんの経営者にお越しいただける会社になりました。

【立高生へのメッセージ】

夢ややりたいことが見つかったら突き進んでください。5年後になりたい姿を思い浮かべれば、今やるべき事が見えてきます。やりたい事がまだ見つからない人も心配はいりません。むしろそちらの方が普通です。そういう人は自分の目の前の事に熱中してみてください。きっと道は開けます。



常念岳:最近では日本百名山を登っています